

# ヒューマンタッチ総研

## Monthly Report

2014年2月

### 1. 今月のトピックス

#### ◆優秀な学生確保のために企業の採用基準は更に厳しく

文部科学省「大学等卒業予定者就職内定状況等調査」によれば、2014年新卒学生の2013年12月1日時点における内定率は76.6%(2013年度は75.0%)となり、前年と比較して就職環境は更に好転している。

しかし、売り手市場になりつつある就職環境の中でも、企業は採用基準を下げるのではなく、より優秀な学生を確保するために、反対に採用基準を上げているようである。

日本経済団体連合会が会員企業を対象に、「2013年4月入社 of 学生を採用する際に求めた能力(5つまで)」を尋ねたところ、下記のような結果になった。いずれの能力も前回調査より求める割合が増えており、企業がより厳しく学生を選別しようとしていることが示されている。

	求める能力	回答企業の比率	対前年増減
1	コミュニケーション能力	86%	4.0ポイント増加
2	主体性	64%	4.5ポイント増加
3	チャレンジ精神	54%	0.3ポイント増加
4	協調性	51%	2.0ポイント増加
5	誠実性	41%	6.8ポイント増加

中でも特に強く求められているのが「コミュニケーション力」である。その背景には、現代の学生は「コミュニケーション力」が特に弱いという現実があるのではないかと思われる。

経済産業省が2006年にまとめた「社会人基礎力」に関する報告書では、若者のコミュニケーション能力は低下していると指摘されている。また、企業の担当者からも、新卒学生の「コミュニケーション力の低さ」を嘆く声が多く聞かれる。

就職活動中の大学生は、就職戦線を勝ち残るためだけでなく、就職してから仕事をうまく進めるためにも、コミュニケーション能力とは何かを分析し、自分の弱点を克服するための対策を打つべきだろう。

#### ◆「出産・育児のため」求職活動をしていない女性は、全国に113万4,000人

2014年1月発表の「総務省・労働力調査」によると、15～64歳の女性における就業率は63.2%と過去最高を更新した。しかし、今後も更なる女性の就業率アップを実現するためには、まだまだ問題は山積しているようである。

その一つが「出産・育児のため」求人活動をしていない女性が全国に113万4,000人もいるということである。総務省統計局の調査によると、15～64歳女性の無業者(1,468万6,000人)の内、就業希望者は590万人2,000人、うち非求職者(求職活動をしていない人)は344万7,000人であり、非求職者の内、「出産・育児のため求職活動をしていない女性」が113万4,000人で最も多いという結果がでている。

女性の出産・育児を何らかの手法で支援して、これらの女性の就業を促進することが今後の大きな課題になると考えられる。

## 2. 雇用関連の最新データ(2014年1月発表)

### (1) 就業・雇用構造/失業動向

◆完全失業者数は225万人と、前年同月に比べ34万人の減少(43か月連続の減少)、完全失業率は3.7%(前月より0.3ポイント減少)と4%を割り、雇用環境の改善が進んでいる。

◆年齢階級別では15歳～24歳の完全失業率が5.9%と最も高いが、前月より0.9ポイントのマイナスとなり改善傾向である。

◆35歳～44歳だけが完全失業者率3.6%(前月より+0.3ポイント)と上昇。

◆人口減少、急速な高齢化の影響から就業者数、雇用者数はともにマイナスとなっており、労働力不足が懸念される。

◆非正規職員・従業員の比率は37.5%(前月より0.3ポイント上昇)となり、雇用者における非正規労働者の比率は増加傾向が続く。

【主要雇用環境指標】

	10月	11月	12月
労働力人口	6,629万人	6,620万人	6,544万人
就業者数	6,366万人	6,371万人	6,319万人
就業率	57.4%	57.5%	57.0%
雇用者数	5,596万人	5,619万人	5,583万人
完全失業者数(総数)	263万人	249万人	225万人
完全失業率(全体)	4.0%	4.0%	3.7%

出典:総務省統計局 労働力調査 2013年12月分(2014年1月31日公表)

#### <就業者数・雇用者数>

就業者数:男性は3,596万人で前月から28万人の減少、女性は2,723万人で24万人の減少

雇用者数: 男性は3,150万人で前月から18万人減少、女性は2,433万人で18万人の減少

#### <就業率>

-男性は81.1%で、前月から1.0ポイント上昇、女性は63.2%で、前月から2.3ポイント上昇し過去最高に

-15歳～64歳は74.9%で、前月から2.4ポイント上昇、65歳以上は19.7%で、前月から0.8ポイント低下

#### <完全失業者数>

-男性は136万人で、前月から14万人の減少、女性は89万人で、前月から10万人の減少

#### <完全失業率>

-男性は3.8%と、前月から0.3ポイント低下、女性は3.5%と、前月から0.2ポイント低下

【雇用形態別雇用者】

	10月	11月	12月
役員を除く雇用者数	5,256 万人	5,274 万人	5,240 万人
正規の職員・従業員	3,291 万人	3,310 万人	3,273 万人
(構成比)	(62.6%)	(62.8%)	(62.5%)
非正規の職員・従業員	1,964 万人	1,964 万人	1,967 万人
(構成比)	(37.4%)	(37.2%)	(37.5%)

出典:総務省統計局 労働力調査 2013 年 12 月分(2014 年 1 月 31 日公表)

【年齢階級別完全失業者・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数	対前月増減	完全失業率	対前月増減
15 歳～24 歳	27 万人	▲6 万人	5.9%	▲0.9 ポイント
25 歳～34 歳	54 万人	▲7 万人	4.7%	▲0.4 ポイント
35 歳～44 歳	54 万人	+2 万人	3.6%	+0.3 ポイント
45 歳～54 歳	39 万人	▲5 万人	3.0%	▲0.3 ポイント
55 歳～64 歳	40 万人	▲3 万人	3.5%	▲0.2 ポイント
65 歳以上	12 万人	▲4 万人	2.1%	▲0.5 ポイント

出典:総務省統計局 労働力調査 2013 年 12 月分(2014 年 1 月 31 日公表)

【求職理由別完全失業者】

	10月	11月	12月
勤め先や事業の都合による離職	64 万人	58 万人	51 万人
定年または雇用契約終了による離職	24 万人	24 万人	21 万人
自発的な離職(自己都合)	94 万人	94 万人	87 万人

出典:総務省統計局 労働力調査 2013 年 12 月分(2014 年 1 月 31 日公表)

## (2) 雇用に関する需給関係

◆有効求人倍率は6年1ヵ月ぶりの1.03倍(前月より0.03ポイント増)となり、雇用環境の改善傾向が続く。

◆有効求人倍率の先行指標である新規求人倍率は1.64倍(前月より0.08ポイント増)となり、今後も雇用環境の改善が進むと推測される。

◆専門的・技術的職業の有効求人倍率は1.70倍(対前月+0.08ポイント)と上昇傾向が続いている。

◆特に「建築・土木・測量技術者」の有効求人倍率が4.31倍(対前月+0.04ポイント)と高くなっており、人手不足の状況にある。

【有効求人倍率】

	10月	11月	12月
有効求人倍率	0.98倍	1.00倍	1.03倍
新規求人倍率	1.59倍	1.56倍	1.64倍
正社員有効求人倍率	0.61倍	0.63倍	0.66倍

出典：厚生労働省：一般職業紹介状況 2013年12月分(2014年1月31日発表)

【職業別有効求人倍率】

	10月	11月	12月
専門的・技術的職業	1.53倍	1.62倍	1.70倍
（開発技術者）	(1.31倍)	(1.36倍)	(1.46倍)
（建築・土木・測量技術者）	(3.96倍)	(4.27倍)	(4.31倍)
（情報処理・通信技術者）	(1.77倍)	(1.87倍)	(1.93倍)
事務的職業	0.24倍	0.24倍	0.25倍
販売の職業	0.95倍	0.97倍	1.01倍
サービスの職業	1.43倍	1.48倍	1.56倍
生産工程の職業	0.81倍	0.85倍	0.88倍
輸送・機械運転の職業	1.46倍	1.51倍	1.58倍

出典：厚生労働省：一般職業紹介状況 2013年12月分(2014年1月31日発表)

### (3)その他

◆大卒の内定率はやや上昇傾向であり、景気回復に伴い大学生の就職戦線も明るさを取り戻しつつある。

【大学新卒者の内定率】

	10月1日	12月1日	2月1日	4月1日
2013年	63.1%	75.0%	81.7%	93.9%
2014年	64.3%	76.6%	未発表	未発表

出典：文部科学省「大学等卒業予定者就職内定状況等調査について」

#### ■このレポートに関する問合せ

ヒューマンタッチ株式会社 ヒューマンタッチ総研担当

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル 1階

TEL:03-6846-9050 Mail:ht@athuman.com